

# 各区だより

## 名東区 めいとう

### 密を避けて エッセイと川柳



容で、応募数15編と大変好評でした。作品は、区なごやか連携関紙「なごやかメイト」に、6回に分けて連載しました。

変更したのは「名東区高齢者交通安全決起大会」にあわせて行う「高齢者交通安全川柳大会」です。決起大会は中止とし、「川柳大会」のみを開催、総数299句と例年と変わらない投稿がありました。優秀作品は、区なごやか連会長賞、区長賞、警察署長賞他10名の表彰式を行いました。

コロナ禍のなか名東区なごやか連では、予定の行事が次々と中止せざるを得ない状況となり、緊急事態宣言やまん延防止の発令で一層の活動を制限されてしまいました。

健康福祉事業部が従来定番としてきた行事も、開催不能となる中、会員同士が集まる機会がなくなり、巣ごもり生活でテレビが友達の仲間が増えました。この中、コロナ感染防止をしたうえでやれる事はないか?の発想から区なごやか連理事会に新しい行事の提案と従来行事内容の変更を提案し、実行に移しました。

(加藤 守)

新しい試みは、エッセイの募集です。テーマは、「私の元気、私の健康」としました。初めての企画であり投稿数も心配でしたが、原稿用紙2枚に日常生活や最近の出来事から元気・健康対策、コロナ対策等多彩な内



## 天白区 てんぱく

### 地域密着の草の根活動で 仲間づくり

天白学区は、緑も多く区内でも一番の人口を誇ります。安心・安全で私たち高齢者には住み良い街です。ただ、残念でならないのは老人クラブ加入者が少ないことです。

わが地区の老人クラブは、4クラブ150名が池場地区若鷺会と称して様々な集合行事を行っています。「老人会はお遊びの会」と中傷する声も聞きますが、学区連絡協議会に在籍し、各種の団体を巻き込み「盆踊り大会・防災訓練・救急救命講習会・小学生下校時見守り」などを学区の先頭に立ち活動しています。



現在、高齢者の自転車利用においてヘルメット着用が努力義務となっています。

実践しています。他にも消防予防課指導の下、熱中症予防法の聴講を行い、天白署交通課に依頼し、高齢者などへの自転車乗り講習会において子ども会・地域住民と共に指導を仰いでいます。

当若鷺会では、ポッチャ・クロリティ・卓球・手芸会・天白川河川敷お花見会・ウォーキングクラブ主催の梅まつり農業センターウォークなど盛沢山の行事があります。活動の後、仲間とのコーヒータイムが楽しい。「おみやあさん、何処の出だね。結婚の馴初めは」から始まる若かりし頃の思い出話はいつも同じ話で、生粋の名古屋弁にも大笑いです。

救急救命講習会では、池場地区若鷺会が学区連絡協議会に呼びかけてAED使用法・心肺蘇生法を「老いも若きもとっさの危機に慌てない」を命題に、頭で覚えるではなく身体で覚えるのを



域社会と共に健康と生きがいを得られるような楽しい活動の再開を心待ちにしています。

(宮田 勝子)